

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-29742

(P2003-29742A)

(43) 公開日 平成15年1月31日 (2003.1.31)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テーマコード* (参考)

G 1 0 D 3/18

G 1 0 D 3/18

5 D 0 0 2

1/08

1/08

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-219203(P2001-219203)

(22) 出願日 平成13年7月19日 (2001.7.19)

特許法第30条第1項適用申請有り

(71) 出願人 301012520

有限会社フラット・ヘッド

長野県埴科郡戸倉町大字内川125番地 3

(72) 発明者 小林 昌良

長野県埴科郡戸倉町大字内川125番地 3

有限会社フラット・ヘッド内

(72) 発明者 表 克美

埼玉県志木市中宗岡二丁目21番22号

(74) 代理人 100086623

弁理士 松田 宗久

Fターム(参考) 5D002 AA04 CC57 DD01 DD07

(54) 【発明の名称】 ギター用のピックガード

(57) 【要約】

【課題】 ピックガード表面を横滑りさせるピックに程よい抵抗感を持たせることのできる、ギター用のピックガードを得る。

【解決手段】 ピックガードを、プラスチック板で形成した下層部52に、銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つなめし加工された皮革で形成した上層部54を積層して、形成する。そして、そのピックガードの上層部54を形成している微細な凹凸を持つ自然の風合いを持った柔軟な銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革表面を、ピック先端を程よい抵抗感を持たせて横滑りさせることができるようにする。



DERWENT-ACC-NO: 2003-194061

DERWENT-WEEK: 200319

COPYRIGHT 2007 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Pick guard for installation to guitar, has
upper layer
provided with flexible-grained leather surface
and formed
over lower layer made from plastics plate

PATENT-ASSIGNEE: FLAT HEAD YG[FLATN]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0219203 (July 19, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2003029742 A	January 31, 2003	N/A
006 G10D 003/18		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2003029742A	N/A	2001JP-0219203
July 19, 2001		

INT-CL (IPC): G10D001/08, G10D003/18

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003029742A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The guard (50) has an upper layer (54) provided with a flexible-grained leather surface and formed over a lower layer (52) made from a plastics plate.

USE - For installation to guitar.

ADVANTAGE - Offers sufficient feeling of resistance when pick slides off leather surface of guard, during strumming of guitar strings.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the top view of the pick guard.

Pick guard 50

Lower layer 52

Upper layer 54

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

TITLE-TERMS: PICK GUARD INSTALLATION GUITAR UPPER LAYER FLEXIBLE
GRAIN LEATHER

SURFACE FORMING LOWER LAYER MADE PLASTICS PLATE

DERWENT-CLASS: P86

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-154363

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ギター本体の表板上方に複数本並べて張設された弦をピックにより掻き降ろす側に当たる弦脇部のギター本体の表板部分を覆うピックガードであって、

その下層部がプラスチック板で形成され、その上層部が銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成されてなることを特徴とするギター用のピックガード。

【請求項2】 ギター本体の表板上方に複数本並べて張設された弦をピックにより掻き降ろす側に当たる弦脇部のギター本体の表板部分を覆うピックガードであって、

その下層部が硬化剤により硬化された床革で形成され、その上層部が銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成されてなることを特徴とするギター用のピックガード。

【請求項3】 前記銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革の表面にカービング模様が刻まれてなる請求項1又は2記載のギター用のピックガード。

【請求項4】 前記銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成された上層部が、前記プラスチック板又は硬化剤により硬化された床革で形成された下層部に、接着剤により接合されてなる請求項1、2又は3記載のギター用のピックガード。

【請求項5】 前記銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成された上層部が、前記プラスチック板又は硬化剤により硬化された床革で形成された下層部に、糸により縫合されてなる請求項1、2、3又は4記載のギター用のピックガード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ギター本体の表板上方に複数本並べて張設された弦を掻き鳴らすピック先端が、ギター本体の表板部分に突き当たって、そのギター本体の表板部分を傷つけるのを防ぐためのピックガードに関する。

【0002】

【従来の技術】図3に示したように、ギター本体10は、その音響効果を高めるために、その内側に空洞部を持つ箱体状をしている。ギター本体10は、その独特の音響効果を保つために、自然木を用いて形成されていて、その外側周囲面には、各種の模様を持つ塗装が美麗に施されている。

【0003】ギター本体10の表板12中央の上方には、金属ワイヤー等からなる複数本の弦20が所定間隔ずつあけて横に並べて張設されている。このギター本体の表板12上方に複数本並べて張設された弦20は、一般に、図4に示したような、手に持ったプラスチック板、象牙等からなる硬質のピック30により掻き鳴らされる。

【0004】ところで、ギター本体の表板12上方に張設された弦20を硬質のピック30により弦20を横断して掻き鳴らした場合には、その硬質のピック30先端が弦20脇部の自然木からなる柔らかいギター本体の表板12部分であって、塗装が美麗に施されたギター本体の表板12部分に突き当たって、そのギター本体の表板12部分をピック30により傷つけてしまうことが多々ある。そして、そのギター本体10の体裁を損ねてしまうことが多々ある。

【0005】そのために、ギター本体の表板12上方に複数本並べて張設された弦20脇部であって、弦20をピック30により掻き降ろす側に当たる弦20脇部のギター本体の表板12部分には、一般に、図3に示したように、プラスチック板からなる硬いピックガード50が備えられている。そして、そのピックガード50により、弦20脇部のギター本体の表板12部分が覆われている。そして、その柔らかい自然木からなる柔らかいギター本体の表板12部分に、硬いピック30先端が突き当たって、そのピック30先端により、弦20脇部のギター本体の表板12部分が傷つけられるのを防いでいる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記のプラスチック板からなるピックガード50は、その表面が平滑な鏡面状していて、弦20を掻き鳴らすピック30先端が弦20脇部のギター本体の表板12部分を覆うピックガード50表面に突き当たった際に、そのピック30先端が平滑なピックガード50表面を全く抵抗感なく横滑りしてしまった。そのために、ギター奏者は、その弦20を掻き鳴らしたピック30先端が、ピックガード50が備えられていないギター本体10の柔らかい自然木からなる柔らかい表板12部分に直接に突き当たって、そのギター本体10の柔らかい表板12部分を横滑りする自然体に近いギターに比べて、その弦20をピック30により掻き鳴らした際に手に受ける感覚が、通常のギターとは異なる異質のものとなってしまった。そして、そのピック30により掻き鳴らした弦20の感触が、ピックガード50がギター本体の表板12部分に備えられていない、自然状態に近いギターに比べて、劣ったものとなってしまった。

【0007】また、ピッキングアルペジオと呼ばれるギター演奏の際には、弦20脇部のギター本体の表板12部分にピック30を持った手の小指又は/及び薬指の先端を押し当てた状態で、ピックガード50近くの弦20をピック30により掻き鳴らしている。そして、その際に、その小指又は/及び薬指の先端を押し当てる弦20脇部のギター本体の表板12部分が平滑なプラスチック板からなるピックガード50により覆われていると、そのピックガード50に対しての小指又は/及び薬指先端の位置、即ちピックガード50が備えられたギター本体

の表板12に対しての小指又は／及び薬指先端の位置を、そのピックガード50表面に押し当てた小指又は／及び薬指の感触により的確に把握できなかった。そのため、その小指又は／及び薬指の先端をピックガード50表面に押し当てた手に握ったピック30により掻き鳴らす弦20の位置を的確に把握できなかった。そして、その手に握ったピック30により掻き鳴らす弦20の位置が、所望の部位とは異なる位置となつて、そのピック30により掻き鳴らす弦20の音調が、狂ってしまうことが多々あった。ちなみに、弦20の音程は、同じ弦20の場合には、そのピック30により掻き鳴らす弦20部分の位置に関係なく、同一となる。それに対して、弦20の音調は、同じ弦20の場合であっても、そのギターの竿70側寄りの弦20部分をピック30により掻き鳴らした際の、その弦20部分が発する音色が柔らかいものに対して、そのギター本体10側寄りの弦20部分をピック30により掻き鳴らした際の、その弦20部分が発する音色が硬いものとなる。

【0008】本発明は、このような課題を解消するためになされたものであって、弦を掻き鳴らすピック先端が弦脇部のギター本体の表板部分を覆うピックガードに突き当たって、そのピックガード表面を横滑りする際に、そのピックガード表面を横滑りするピックに、ピックガードで覆われていないギター本体の自然木からなる柔らかい表板部分をピック先端が横滑りする場合に似た、ほどよい抵抗感を持たせることのできる、ギター用のピックガード（以下、単にピックガードという）を提供することを目的としている。また、ピッキングアルベジオと呼ばれるギター奏法において、そのピックを持った手の小指又は／及び薬指の先端を弦脇部のギター本体の表板部分を覆うピックガード表面に押し当てた場合に、そのピックガードに対しての小指又は／及び薬指先端の位置を、そのピックガード表面に押し当てた小指又は／及び薬指のピックガード表面部分に対しての感触により的確に把握して、その手に持ったピックにより、弦の所望部位を弦の音調を狂わせずに常に誤りなく正確に掻き鳴らすことのできる、ピックガードを提供することをもう一つの目的としている。

【0009】

【課題を解決するための手段】このような目的を達成するために、本発明の第1のピックガードは、ギター本体の表板上方に複数本並べて張設された弦をピックにより掻き降ろす側に当たる弦脇部のギター本体の表板部分を覆うピックガードであつて、その下層部がプラスチック板で形成され、その上層部が銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成されてなることを特徴としている。

【0010】また、本発明の第2のピックガードは、ギター本体の表板上方に複数本並べて張設された弦を脇部であつて、前記弦をピックにより掻き降ろす側に当た

る弦脇部のギター本体の表板部分を覆うピックガードであつて、その下層部が硬化剤により硬化された床革で形成され、その上層部が銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成されてなることを特徴としている。

【0011】この第1又は第2のピックガードにおいては、弦を掻き鳴らしたピック先端が弦脇部のギター本体の表板部分を覆うピックガードに突き当たって、そのピック先端がピックガード表面を横滑りした際に、そのピックガードの上層部が銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ自然の風合いを持つ皮革で形成されているため、そのピックガードの上層部を構成している微細な凹凸等を持つ自然の風合いを持った柔軟な皮革の表面をピック先端をほどよい抵抗感を持たせて横滑りさせることができる。

【0012】また、ピックガードの下層部が硬質のプラスチック板又は硬化剤により硬化された床革で形成されているため、その硬質の下層部に積層された上層部に当たる銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ柔らかい皮革を、その硬質の下層部により容易に撓まぬようにほぼ平面状に展開させた状態に保持し続けることができる。

【0013】本発明の第1又は第2のピックガードにおいては、前記銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革の表面にカービング模様が刻まれてなる構造とすることを好適としている。

【0014】この第1又は第2のピックガードにあつては、ピッキングアルベジオと呼ばれるギター奏法において、そのピックを持った手の小指又は／及び薬指の先端を弦脇部のギター本体の表板部分を覆うピックガード表面に押し当てた場合に、そのピックガードの上層部を構成している皮革表面の各所にそれぞれ異なる形状の凹凸を持つカービング模様が刻まれているため、その皮革表面の各所に刻まれた様々のカービング模様の凹凸を頼りにして、そのピックガード表面に押し当てた小指又は／及び薬指先端のピックガードに対しての位置を、その様々の凹凸を持つピックガード表面部分に押し当てた小指又は／及び薬指の感触により誤りなく的確に把握できる。そして、その手に持ったピックにより、ピックガード近くに張設された弦の所望部位を弦の音調を狂わせずに常に誤りなく正確に掻き鳴らすことができる。

【0015】本発明の第1又は第2のピックガードにおいては、前記銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成された上層部が、前記プラスチック板又は硬化剤により硬化された床革で形成された下層部に、接着剤により接合されてなるか、又は、前記銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成された上層部が、前記プラスチック板又は硬化剤により硬化された床革で形成された下層部に、糸により縫合されてなる構造とすることを好適としている。

【0016】この第1又は第2のピックガードにあつては、銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成され

た上層部をプラスチック板又は硬化剤により硬化された床革で形成された下層部に、接着剤により接合したり、又は糸により縫合したりして、一体に積層できる。そして、その上層部と下層部とが一体に積層されてなるピックガードを、その上層部と下層部とを互いに離隔させずに一体化した状態のままで、ギター本体の表板部分に手数を掛けずにねじ止めしたり又は貼着したりできる。

【0017】

【発明の実施の形態】図1と図2は本発明の第1又は第2のピックガードの好適な実施の形態を示し、図1はその平面図、図2はその側面図である。以下に、この第1又は第2のピックガードを説明する。

【0018】図1と図2に示した第1又は第2のピックガード50は、図3に示したような、ギター本体10の表板12中央の上方に複数本並べて張設された弦20を、図4に示したような、プラスチック製などの硬質のピック30により掻き降ろす側に当たる弦20脇部のギター本体の表板12部分を覆って、そのギター本体の自然木からなる柔らかな表板12部分がピック30先端により擦られて傷つくのを防ぐためのものである。

【0019】この第1又は第2のピックガード50は、図2に示したように、その上層部54が、銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ比較的加工の容易な牛又は馬などの自然の風合いを持つ柔軟な感触の良いなめし加工された皮革で形成されている。

【0020】また、第1のピックガード50においては、その下層部52が、加工が容易で握みにくい硬質のプラスチック板で形成されている。他方、第2のピックガード50においては、その下層部52が硬化剤により硬化されて握みにくく形成された加工の容易な床革で形成されている。床革を硬化させる際には、硬化剤を繰返し床革表面に塗布して、その硬化剤を床革に多量に含浸させている。

【0021】この第1又は第2のピックガード50の上層部54を構成している銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革と、その下層部52を構成しているプラスチック板又は硬化剤により硬化された床革は、凹凸なく重ね合わせ可能なように同一形状をしていて、ピックガード50により覆うギター本体10の表板12部分の形状に合わせて、図1に示したような、例えばほぼ横長の三角形状を共にしている。

【0022】図1と図2に示した第1又は第2のピックガード50は、以上のように構成されていて、この第1又は第2のピックガード50は、図3に示したように、ギター本体の表板12上方に複数本並べて張設された弦20をピック30により掻き降ろす側に当たる弦20脇部のギター本体の表板12部分に、該表板12部分を覆うようにして取り付け用いられる。具体的には、第1又は第2のピックガード50を、図3に示したような、弦20が張設された箇所下方のギター本体の表板12部

分に弦20の振動音をアンプに伝えるためのピックアップ16が備えられたエレキギター、エレキベース等のギターに取り付ける場合には、その第1又は第2のピックガード50の隅部に当たる3箇所等が自然木からなるギター本体の表板12に止め具14を介してねじ止めされる。そして、そのピックガード50が、ギター本体の表板12の上方に、ピックアップ16のほぼ厚さ分浮かせてねじ止めされる。他方、第1又は第2のピックガード50を、弦20下方のギター本体10の表板12部分に、ピックアップ16が備えられておらずに、代わりにサウンドホール（図示せず）が設けられたアコースティックギター等のギターに取り付ける場合には、その第1又は第2のピックガード50の下層部52底面が、弦20脇部のギター本体の表板12部分に接着剤を用いて直接に密着させて接合されたり、又はその第1又は第2のピックガード50隅部の3箇所等が木製の表板12に直接に密着させてねじ止めされたりする。

【0023】第1又は第2のピックガード50を、このようにして、弦20脇部のギター本体の表板12部分に取り付けた場合には、そのピックガード50が備えられたギターの弦20を掻き鳴らしたピック30先端が弦20脇部のギター本体の表板12部分を覆うピックガード50に突き当たって、そのピックガード50表面をピック30先端が横滑りした際に、そのピックガードの上層部54が銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ自然の風合いを持つ柔軟な皮革で形成されているため、そのピックガードの上層部54を構成している微細な凹凸等を持つ自然の風合いを持つ柔軟な皮革表面を、ピック30先端をほど良い抵抗感を持たせて横滑りさせることができる。

【0024】また、ピックガードの下層部52が硬質のプラスチック板又は硬化剤により硬化された床革で形成されているため、その硬質の下層部52に積層された上層部54の銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ柔軟な皮革を、その硬質の下層部52により容易に撓まぬようにほぼ平面状に展開させた状態に保持し続けることができる。そして、その上層部54と下層部52とからなるピックガード50が、その内側又は外側にカール等して、そのピックガード50表面をピック30先端を引っ掛かりなく円滑に横滑りさせることが不可能となるのを防ぐことができる。

【0025】図1と図2に示した第1又は第2のピックガード50においては、図1に示したように、その上層部54を構成している銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革の表面に、自然の風景、草木、動物、ギター奏者のイニシャル等の凹凸を持つ様々のカービング模様56を刻むと良い。

【0026】その場合には、ピッキングアルペジオと呼ばれるギター奏法において、そのピック30を持った手の小指又は及び薬指の先端を弦20脇部のギター本体

の表板12部分を覆うピックガード50表面に押し当てた場合に、そのピックガードの上層部54を構成している皮革表面の各所に刻まれた様々のカービング模様56の凹凸を頼りにして、そのピックガード50表面に押し当てた小指又は／及び薬指先端のピックガード50に対しての位置を、ピックガード50の上層部54の皮革表面部分に触れた小指又は／及び薬指の感触により誤りなく正確に把握できる。そして、その手に持ったピック30により、ピックガード50近くに張設された弦20の所望部位を弦20の音調を狂わせずに常に誤りなく正確に掻き鳴らすことができる。そして、音調の狂いの無いギター演奏を常に行うことが可能となる。

【0027】図1と図2に示した第1又は第2のピックガード50においては、その銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成された上層部54を、そのプラスチック板又は硬化剤により硬化された床革で形成された下層部52に、接着剤により接合するか、又は、その銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成された上層部54を、そのプラスチック板又は硬化剤により硬化された床革で形成された下層部52に、図1に破線で示した円形部分であって、ギター本体の表板12にねじ止めするピックガード50の隅部等を除いて、糸により縫合すると良い。

【0028】その場合には、銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成された上層部54をプラスチック板又は硬化剤により硬化された床革で形成された下層部52に、接着剤により接合したり、又は糸により縫合したりして、一体に積層できる。そして、その皮革で形成された上層部54とプラスチック板又は床革で形成された下層部52とが一体に積層されてなるピックガード50を、その上層部54と下層部52とを互いに離隔させずに一体の状態のままで、弦20脇部のギター本体の表板12部分に止め具14を介して手数をかけずに浮かせてねじ止めしたり、密着させてねじ止めしたり、又は弦20脇部のギター本体の表板12部分に手数をかけずに接着剤により密着させて貼着したりできる。

【0029】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の第1又は第2のピックガードによれば、そのピックガードを弦脇部のギター本体の表板部分に取り付けた状態において、そのピックガードに弦を掻き鳴らしたピックが突き当た

って、そのピック先端がピックガード表面を横滑りした際に、そのピックガードの銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革で形成された微細な凹凸を持つ自然の風合いを持った柔軟な上層部表面をピック先端をほど良い抵抗感を持たせて横滑りさせることができる。そして、その弦を掻き鳴らす手に持ったピックに、ピックガードがギター本体の表板部分に取り付けられていない自然体に近いギターに似た、ほど良い抵抗感を持たせることが可能となる。

【0030】また、その上層部を構成している銀面と呼ばれる皮革面を上端に持つ皮革の表面に、カービング模様が刻まれてなる第1又は第2のピックガードにあっては、ピッキングアルペジオと呼ばれるギター演奏の際に、ピックガード表面に押し当てる小指又は／及び薬指のピックガードに対しての位置を、その小指又は／及び薬指の先端が触れたピックガード表面の各所に刻まれたカービング模様の種々の凹凸により、的確に把握できる。そして、その手に持ったピックにより、ピックガード近くの弦の所望部位を常に誤りなく正確に掻き鳴らすことができる。そして、その手に持ったピックにより掻き鳴らす弦の音調が狂うのを、常に確実に防ぐことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1又は第2のピックガードの平面図である。

【図2】本発明の第1又は第2のピックガードの側面図である。

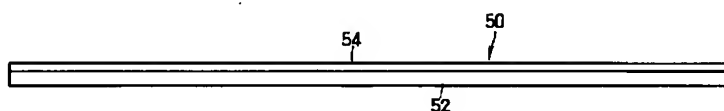
【図3】ギターの一部斜視図である。

【図4】ピックの正面図である。

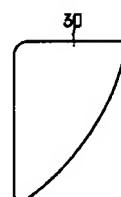
【符号の説明】

- 10 ギター本体
- 12 ギター本体の表板
- 14 止め具
- 16 ピックアップ
- 20 弦
- 30 ピック
- 50 ピックガード
- 52 下層部
- 54 上層部
- 56 カービング模様

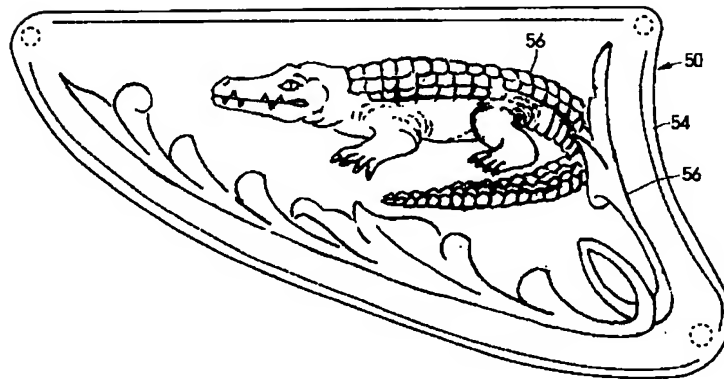
【図2】



【図4】



【図1】



【図3】

